




「高御位山」を火災から守ろう！

(加古川市消防団及び兵庫県消防防災航空隊との連携訓練)

主催	加古川市中央消防署		
日時	令和5年2月25日(土) 8時30分から12時まで		
場所	加古川市志方町成井 高御位山、奥の池周辺及び山池西側空地 加古川市志方町原 加古川市立志方西小学校		
内容	<p>春季全国火災予防運動の一環行事として、加古川市最高峰であり、別名播磨富士とも呼ばれる「高御位山」において、消防職員、消防団員及び兵庫県消防防災航空隊が連携して林野火災訓練を実施します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>訓練想定については、高御位山13丁付近から出火し、周囲へ延焼拡大しているというものです。地上からは、消防職員及び消防団員が協力し、高御位山のふもとにある奥の池から成井登山口13丁付近まで消防ホースを延長し、放水活動を行います。また、兵庫県消防防災航空隊のヘリコプターについては、高御位山上空からの情報収集のほか、加古川市立志方西小学校のグラウンドを離着陸場に設定し、高御位山10丁への資機材輸送を行います。</p> <p>(初めて ・ 恒例 ・ ●回目)</p>		
対象(参加者)	加古川市中央消防署員	60名	
	加古川市消防団員	30名(10名×3分団)	
	兵庫県消防防災航空隊員	6名	約96名
定員	—		
参加費	—		
申込先・方法	—		

目的・背景 その他	加古川市、高砂市にまたがり親しまれている高御位山は、身近な低山の登山コースとして多くの登山客が訪れています。この訓練は、高御位山を火災から守るため、関係機関と連携して実施するものです。
市ホームページ	掲載済み ・ 掲載予定(●月●日) ・ 掲載しない
広報かこがわ	●月号に掲載 ・ ●月号に掲載予定 ・ <input type="checkbox"/> 掲載しない



加古川市中央消防署志方分署 (担当: 稲岡・森本)

☎079-452-0119 (内線*2400)

参考資料（林野火災関係）

1 令和4年の林野火災発生事案

令和4年2月28日 13時40分 志方町畑 普通林

焼損面積 約1949アール

令和4年2月28日 15時00分 志方町大澤 普通林

焼損面積 約30アール

令和4年3月9日 17時00分 八幡町下村 雑木林

焼損面積 約0.5アール

2 直近の高御位山での林野火災発生事案

平成23年1月24日 時間不明 志方町成井 高御位山

焼損面積 約10.3ヘクタール

※ 高砂管内からの延焼によるもの

高砂管内 約102ヘクタール

姫路管内 約5ヘクタール

3 加古川市管内過去5年間の火災件数

	火災件数	建物火災	林野火災
令和4年	88件	51件	3件
令和3年	76件	44件	0件
令和2年	96件	53件	4件
令和元年	96件	55件	2件
平成30年	92件	48件	3件

以上

令和4年度「高御位山」林野火災訓練実施計画

1 訓練目的

林野火災多発期に伴い、春季全国火災予防運動の一環行事として消防職団員及び兵庫県消防防災航空隊（以下「防災ヘリ」という。）が合同訓練を実施することにより、林野火災防御要領の習熟及び相互の連携体制の強化を図ることを目的とする。

2 実施日時

令和5年2月25日（土）8時30分から12時00分まで（小雨決行）

※天候、災害等により中止は、当日6時30分に決定する。

3 訓練場所

- (1) 加古川市志方町成井 高御位山、奥の池周辺及び山池西側空地
- (2) 加古川市志方町原 加古川市立志方西小学校

4 訓練想定

令和5年2月25日（土）9時00分頃、加古川市志方町成井の高御位山13丁付近から出火し、周囲へ延焼拡大中である。防災ヘリによる情報収集並びに可搬ポンプ1台、消防ホースを輸送し、ホース延長により火災防御活動を実施する。

5 気象想定

- (1) 乾燥注意報発表中
- (2) 西の風3m/s 湿度50パーセント

6 訓練参加人員及び参加車両

- (1) 参加人員 中央消防署員 60名
消防団員 30名（10名×3分団）
防災ヘリ隊員 6名
- (2) 参加車両 志方分署ポンプ車、両荘分署ポンプ車、中央消防署非常用タンク車
マイクロバス、市1トントラック、中央消防署広報車、軽トラック、
消防防災ヘリコプター

7 訓練要旨

- (1) 指揮、命令及び報告要領の徹底並びに無線の有効活用
- (2) 消防職団員及び防災ヘリの連携体制の確立
- (3) ポンプ運用、ホース延長及び消防資機材活用技術の習熟

8 活動内容

- (1) 奥の池にポンプ車で水利部署、先ポンプのタンク車へ中継送水し、成井登山口から65ミリのホースを1線延長する。
- (2) 志方西小学校には、ポンプ車1台を配置し、防災ヘリの支援活動（安全管理、到着場の散水、資機材輸送補助）を実施する。
- (3) 防災ヘリから輸送された可搬ポンプを8丁に設置、成井登山口から延長された65ミ

リホースを接続し、中継送水隊形を取り、13丁付近で放水訓練を実施する。

9 安全管理

- (1) 各小隊長は、常に隊員の行動を把握し、安全確保に万全を期すること。
- (2) 登山道の傾斜が急な場所での資機材の搬送及びホース延長にあつては十分に注意すること。
- (3) 訓練参加隊員の安全を確保するため、登山道に安全担当者を配置すること。
- (4) 救護班は救急資器材を携行し、体調不良者等が発生した際に対応に当たること。

10 その他

- (1) 参加車両及び資機材は、事前点検を確実にすること。
- (2) 参加車両は訓練旗を掲げること。
- (3) 荒天により警報が発表された場合や災害により訓練の実施が困難な場合は、訓練を中止する。

高御位山ホース延長及び放水隊形全景図

別紙2

